

豊かな森・生態系づくりの応援北海道生物多様性の保全活動
野幌森林公園 未来につなぐ100年の森「植樹祭」

生き物のすみかづくり体験

～プロと一緒に木を植えてみよう～

じかん

2026年10月10日(土)

9:30

少雨天決行/14時終了予定

ばしょ

野幌森林公園
(道有林)

集合場所: 瑞穂口・駐車場

にんじん

20名

定員になり次第、
募集・受付を締切ります

※お申込みは、所定の参加申込み
フォームにて受付
→詳しくは裏面参照

なつどう

台風倒木被害の森林再生活動
針・広葉樹苗木55本の植林作業
(穴掘り、食害の防護材設置、植付)
森林教室(講話)

※参加者には、昼食(お弁当、お茶)提供。
保険に加入します。



主催: 公益財団法人オイスカ北海道支部
共催: 札幌ユネスコ協会

協力: 一般社団法人北海道CGCみどりところの基金
NPO法人北海道森林ボランティア協会
札幌スノートピアライオンズクラブ
公益法人森と緑の会



活動趣旨

森林には樹木や草花などの多くの植物が生育し、その植物の花や実を餌としたり、樹の幹や土の中をすみかにする動物が生息するなど、森は多くの生物種と共生しています。そのような森を育て、守ることが、生物多様性を保全する上で重要な生態系構造と役割を担っています。如何に森林の減少(乱伐、焼失など)や劣化(密集による成長不良、倒木放置など)をくい止め、次の世代へ継承させるかが重要な課題です。野幌森林公園にも、フクロウ、シマエナガ、ニリンソウなど、多種多様な動植物が生息していますが、台風による倒木被害があり、これらの森林再生には長い期間と労力を要しているのが実態です。このため、植林・育林で手を差し伸べることで、豊かな森、豊かな生態系への回帰が早まり、生物多様性の保全が促進します。こうした趣旨に基づき、北海道生物多様性の保全活動となる野幌森林公園 未来につなぐ100年の森「植樹祭」“生き物のすみかづくり体験”の実施にあたり、参加者を募集します。

申込み要項

参加申込みは、二次元コードからオイスカ北海道活動案内サイトを参照し、該当のGoogleフォームにてお願いします。



締切り: 2026 年 10 月 2 日

定員を超えた場合は途中で申込受付を終了します。10月2日以降、参加申込みに対する受付登録の通知メールを発信します。

二次元コードで参照できない場合は「オイスカ北海道支部」で検索の上、ご利用願います。参加申込みのGoogleフォームが利用できない方は、メールにてご連絡願います。

事務局メールアドレス: oisca-h@lake.ocn.ne.jp
事務局 TEL: 011-864-9684 / 平日 13:00~16:30

参加要項

■参加の条件

- ・ 自家用車や自転車等で現地(野幌森林公園 瑞穂口・駐車場)に行ける方
- ・ 小学生は親子参加とし、中学生以上の単独参加は可/但し保護者等の送迎が必要

■持ち物・服装

- ・ 作業中の給水、タオル、敷物、雨具、軍手、リュックサック
※主催者から昼食(お弁当・お茶)を提供するので持参不要
- ・ 森の中で過ごす持ち物(任意): 双眼鏡、虫眼鏡、鉛筆・画用紙、木や昆虫図鑑など
- ・ 服装は、長袖・長ズボン、靴底の厚い靴(長靴持参、履替推奨)
※植林作業時はヘルメット貸与

■注意事項

- ・ 植林地は、倒木伐採・地ならし、草刈りを行っておりますが、笹や雑草は刈り跡が残って徐々に再生しており、周辺は森林と雑草に覆われてます。虫刺され、草木のカブレ、草刈り跡(枯草等)での擦り傷等を防止するため、肌が露出する服装は極力控えてください。特に短パンやスカートでの参加は厳禁とします。
- ・ 首巻きタオル、腕カバー、軍手等の着用、防虫スプレー持参・使用を推奨します。
- ・ ハチ寄せ防止のため香りの強い化粧品や香水(香る柔軟剤使用の衣服も含む)および黒っぽい服装は避けてください。
- ・ 大雨等での開催中止は当日の朝・出発前迄にメールでご案内します。メール不可の方々には電話等での連絡となります。

■傷害保険

- ・ 傷害保険としてボランティア活動保険(札幌市社会福祉協議会/基本コースAプラン)に加入します。
但し20名以上の参加となった場合は、損害保険ジャパン株(代理店:エルディ)のレクリエーション傷害保険に加入します。
- ・ 怪我等があった場合は当該保険の補償範囲を限度として補償することについて、参加申込みを以て参加者から承諾を得たものとします。

